

「災害で消えた小さな命展」では、さまざまな災害で亡くなってしまった動物たちの姿を、作家たちが無償で描いています。絵になった動物たちは、全国で展覧会を開催し、巡回終了後その家族である飼い主にプレゼントします。この展覧会を始めることになったきっかけは、2011年3月11日に日本の東北地方で起きた「東日本大震災」です。この地震により大規模な津波が発生し、多くの人の命が犠牲になりました。そして同時に、想像を絶する数の動物たちの命も犠牲になりました。

しかし、犠牲になった命の中には、彼らがもしも人間だったら確実に助かることができた命がたくさんあったことを私は知りました。

避難指示があった時、日本の多くの避難所では、動物たちは人間と同じように、安全な室内と一緒に避難することができません。そのために、命を落とすことになった動物たちがたくさんいます。そして、命を落とした動物の飼い主たちは、自分だけが助かってしまったと、心に深い傷を残し、今でも苦しんでいます。

東日本大震災から6年が経ちます。2016年4月には熊本県でも大きな地震が起きました。

地震だけではなく。この6年の間に、地震・水害などいくつもの災害がありました。大規模な避難指示のあった災害は12件、すべて合わせると約100件もの災害が起きています。

あれほど多くの動物たちの命を犠牲にした東日本大震災から6年も経つのに、動物の命の扱われ方は何も変わっていません。

姿形が違ってても、その命を想う人にとっては、大切な家族です。

これ以上、助けられたはずの命を二度と作らない為に、私は人も動物も安全な室内と一緒に避難できる避難所（ペット同伴避難）を作っていきたいと思っています。

その為には、日頃の命に対する価値観が重要だと思います。

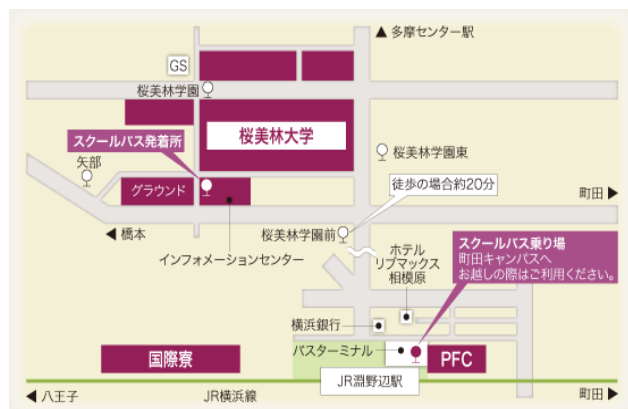
日頃の命に対する価値観が、災害時の判断につながります。

人も動物も虫も植物も・・・全ての命を同じように大切に想うことができる世の中になっていくことを、私は心から祈っています。

「災害で消えた小さな命展」代表 うさ

アクセス・マップ

①JR 横浜線「淵野辺」駅より無料スクールバスで約 8 分



②京王線・小田急線・多摩モノレール線「多摩センター」駅より 無料スクールバスで約 20 分



同展代表・
絵本作家
アーティスト
「うささん」
特別講演会
12/5(火)
17:50 ~
19:20
明々館2階
A204 教室

『災害で消えた小さな命展 パート4』展示会場
学術館1階サービス・ラーニング・センター